

# 切磋琢磨Ⅱ

校長室だより

R1.11.25 第28号

## 学校教育活動アンケートにご協力ください

### PDCAサイクルで教育活動を見直し

毎年、この時期に本校の教育活動について、保護者・児童・教師の三者によるアンケートを実施しています。これは、日ごろ実践している教育活動の在り方を振り返り、教育目標の実現のために何を改善していくべきかを検討する材料とするためです。以下の方法で、見直しをすすめていきます。

#### <教育活動に合わせたPDCAサイクル>

- P** : Plan 行事や授業計画を立てる
- D** : Do 実践する
- C** : Check 子どもたちの姿で評価する
- A** : Action 改善方法を考える
- P** : Plan 新たな計画を立てる…

今回、皆さんからのアンケートを基に、「Check」をすすめていきます。

### 「自己肯定感を高める」を柱に

今年度、本校の教育目標の指針を「自己肯定感を高める」に焦点化しました。

自己肯定感を「自分が自分であることに満足し、価値ある存在として受け入れられること」と考え、さまざまな教育活動を通して、これを高めていく取り組みをしています。

今回のアンケート項目は、「徳」「知」「体」に加え、学校環境・教師の支援という視点で作成しましたので、質問項目を改訂しています。

そこで、保護者の皆様が、答えやすいように、この「校長室だより」にて、具体的な取り組みや説明を載せましたので、回答の際の参考にしてください。

アンケートは2種類あります。

- ① マークシート形式（鉛筆で）全員回収  
提出締切日は12月5日（木）
- ② 記述式（回答は任意です）  
提出締切日は12月13日（金）  
②は懇談会日にアンケートBOX投函可

### <保護者用アンケート 参考資料>

1 学校は、道徳教育に力を入れ、自他を大切に  
する心を育成しようとしている。

○自分を大切にする、友だちを思いやる心を、「道徳」の授業を中心に育てています。意見を交換しながら、それぞれの思いを受け止め、認めていくことを各学級で繰り返し行っています。「校長室だよりの26号」も参考にしてください。

2 学校は、いじめの早期発見、未然防止などに  
力を入れている。

○いじめは「いつでもどこでも誰にでも起こりうるもの」と考えています。兆しに気づいたとき、いじめは許されない行為であるということを、集団の中に根付かせる積極的な生徒指導を行っています。アンケートのうち、2回は家に持ち帰り、ご家庭で振り返っていただくシステムで、いじめに対するアンテナを高めています。

3 学校は、「わかった、できた」という楽しさ  
や喜びを体感させられる授業を行っている。

○学校の第一義は、学習＝授業です。幅広い知識と教養を身につけるために、主役である子どもたちが達成感や充実感を得られるような授業や行事を目ざしています。

4 学校は、話し合い活動に力を入れ、自分自身  
の学びを深めさせようとしている。

○一人の学びでは、考え方も単一化する傾向があります。本校では「お話タイム」や授業での、ペア・グループトーク等に力を入れています。互いの意見を交流しながら、新たな気づきを基に、さらに課題をもって深く学ぶ態度を育成しています。

<裏面に続く>

5 学校は、二川小ギネスや体育の授業、外遊びなどを通して、体力の向上を図っている。

○人生100年時代を生き抜くために、体力は欠かせないもの。小学校期に、体力の基盤を培うことが大切だと考えます。目標をもたせるとともに、体を動かすことの楽しさを体感させています。本年度は、新たに「マット運動強化月間」を1月に作り、柔軟性を高めていきます。

6 学校は、「早寝早起き朝ごはん」が定着するように、家庭への啓発活動を行っている。

○「元気もりもりカード」への取り組みが中心です。メールにて声掛けや学校保健委員会を通して、自身の生活を振り返り、基本的な生活習慣を身につけるように、広報しています。ご家庭でもご協力をいただき、感謝しています。

7 学校は、安全教育を通して、「自分の身は自分で守る」意識を育てている。

○交通安全教室(1,3年)に加え、中学生の自転車事故が多発している状況から、本年度から6年生も自転車教室を実施することにしました。また、避難訓練や緊急時対応(Jアラート)訓練、防犯教室を行いました。本校の目玉は、地域と学校が一体となって行う校区防災訓練です。どの活動も、事前事後指導をしっかり行うことで、日ごろから「いのちを守る」「大きなけがをしない」という意識をもたせています。

8 学校は、家庭・地域との連携を強化し、「社会に開かれた学校づくり」をすすめている。

○来年度、完全実施される「新学習指導要領」には、「社会に開かれた学校」として、家庭・地域社会と学校との連携・協働の必要性が、明記されています。

本校では、本年度「共育(ともいっく)ボランティアの会」を立ち上げて、地域や家庭の教育力を生かした新教育課程の編成をすすめています。児童の実態を捉えながら、教育活動を円滑にすすめるために必要な人的、物的な体制を家庭・地域ともに整えていきたいと思ひます。

9 学校は、一人一人を大切に、その子のよさを伸ばす教育を行っている。

○それぞれの子が、個性や可能性をもっています。そのよさを捉え、引き出し、輝かせるためには、教職員全員で、全児童を支援していく体制が不可欠です。アンテナを高く、情報交換を密にして、いきいきと活躍できる子どもの育成を目指しています。

10 学校は、たより・新聞・ホームページなどで、学校の「今」を積極的に発信している。

○学年・学級通信や学校・PTA新聞、学校配信メール、この「校長室だより」等で、二川小学校の様子や伝えたいことを発信しています。また、行事や授業参観だけでなく、日ごろの姿を見ていただくのも大切だと思いますので、ご都合がつかたは、学校参観にお越しいただいています。授業ボランティアの参加数も増えてきています。

＜新たな取り組み紹介 「いのち」編＞  
5年生 赤ちゃん講座 自然と笑顔が…



4年生 動物や防災で「いのち」を学ぶ  
動物ふれあい講座 防災講座



応急手当講座



来年度、「総合的な学習の時間」の教育課程が大きく変更します。